《学校・家庭・地域をつなぐ「学校だより」》 **令和８年度８月号**【丹波篠山市立西紀小学校】

和輪話 にしきのわ

～地域が育て，地域が育つ学校～

西紀小学校
〒669-2716
兵庫県丹波篠山市乗竹650
TEL：079-593-0024
FAX：079-593-0249
Email：el-nishiki@school.sasayama.jp
（文責：藤原典英）

自分の頭で考える，自分の言葉で語る～生きることを喜べる子どもへ～

皆さんは，「かこさとし」という名前に覚えがありますか．

「だるまちゃんとてんぐちゃん」に始まる「だるまちゃん」シリーズ，「からすのパンやさん」，「どろぼうがっこう」等で知られる絵本作家です．

私自身は小さい時に読んだ記憶はないのですが，この職に就いて絵本に親しむ様になり，かこさとしを知りました．学級の子どもに読み聞かせるために手に取ったはずが，いつの間にか自分が夢中になって読んでいました．

そのかこさとしの初の自叙伝として，「未来のだるまちゃんへ」という書籍があります．

その中に，次の様な一文があります．

『だから僕は，子どもたちには生きることをうんと喜んでいてほしい．』

今月は「８月」ということで，『平和』について西紀中地区の皆さんと考えてみたいと思い，この本を手に取りました．

一学期，学びの自己調整力を育んでいくために，算数科で「自由進度学習」という学び方に挑戦しました．自分で計画を立て，自分のペースで学習を進めていくという学び方です．

その様子を見ていると，一斉授業の時とはまた違う，集中した子どもたちの表情に出あいました．友だちと相談しながら学習を進める子ども，一人で時間をたっぷりと使って思考に耽る子ども．それぞれのペースで，それぞれのやり方で，学びに向かっている姿がありました．

こういった子どもの姿を見ていると，「自分の頭で考える」ということの原点は，こういった学びの中にあるのではないか，と感じます．誰かに言われた通りに動くのではなく，自分で考え，自分で選び，自分で進めていく．その積み重ねが，やがて「自分は自分の主人公，世界でただ一人の自分を創っていく責任者」という生き方につながっていくのではないでしょうか．

自由進度学習では，友だちと相談しながら学習を進める場面も多く見られました．学び方も，考え方も，一人ひとり違います．相談する中では，自分とは違う考え方や，思いもよらない解き方に出あうこともあったことでしょう．

そうした時，自分と違う考えを頭ごなしに否定するのではなく，一旦受け止め，「どうしてそう考えたのだろう」と聞いてみる．そういう姿勢が，少しずつ育っていっているのではないかと感じています．

自分と違う意見に出あった時，それを理解しようとするか，それとも切り捨ててしまうか．この差は，教室の中だけの話ではありません．社会の在り方，そして平和ということにも，繋がっているのではないかと考えています．

実は，「未来のだるまちゃんへ」の中で，かこさとしはもう一つ，胸の内を明かしています．戦争を主題にした絵本を，いつか出さなければと思い続け，幾度も企画を立てては，自ら見送ってきた，というのです（かこさとしの没後，２冊出版されています）．

「戦争」がなぜ起こるのかを突き詰めていくと，どうしても「経済」の問題に行き着く．それを子どもに分かりやすく伝える方法を，ずっと考え続け，著名な経済学者を訪ねて教えを乞うたこともあったといいます．専門家として個々の現象は詳しく解説してもらえたものの，かこさとしの感触としては，人間の問題としてそこに踏み込むまでには至らなかった，とのことです．朝鮮戦争やリーマン・ショック，イラク戦争についての経済分析が重ねられてきた今も，戦争を避けたり防いだりすることに，なかなか成果が結びついていない――そうも綴っています．

敗戦から七十年近く※「未来のだるまちゃんへ」は2014年初版刊が経ってなお，戦争を伝える絵本の見取り図が描けずにいる．そのことを，かこさとしは率直に，恥ずかしいと記しています．

私はこの一節を読んで，はっとさせられました．平和というのは，「戦争は悪いことだ」と誰かや何かを断罪して済む話ではない．何故争いが起こるのか，その複雑さから目を逸らさず，自分の頭で考え続けることこそ，そして時間がかかってもその様な子どもを育てていくことこそが，遠回りではあるけれども，平和への一番の近道なのではないか，そう感じています．

二学期，これまで以上に大切にしていきたいと考えているのは，「対話」です．
他者の声に耳を傾けること．そして，自分自身の声に耳を傾けること．そのどちらの声にも耳を傾けることで，一人では気づけなかった，自分の中にある声に出あうことが出来るのではないでしょうか．
対話というと，相手を理解することだと捉えられがちですが，実はそれだけではないと思うのです．他者の声に耳を傾けることは，同時に，自分自身を知る手だてにもなります．普段考えていることの多くは，言葉にならないまま，漠然とした思い込みとして自分の中に眠っています．それが輪郭を持って見えてくるのは，誰かと話していて，「あれ，自分はそう考えていたのか」と気づく瞬間ではないでしょうか．一人で考えているつもりでも，実際にはどこかで借りてきた意見を，自分の意見だと思い込んでいることがあります．対話は，その思い込みを一枚一枚めくり，本当に自分が考えていることを，自分自身に手渡してくれる営みなのだと思います．
自分の中にある声に出あっている人は，違う意見を，自分を脅かすものとしてではなく，自分を照らす鏡として受け取ることが出来ます．対話が平和の土台になる，というのは，そこに一番の芯があるのだと，私は考えています．
そして，そうした対話を積み重ねていくことが，想像力を少しずつ豊かにし，互いを思いやる心を育てていくのではないか，そう考えています．
自分の自由を大切にすることは，同時に，相手の自由を認め合うことでもあります．そうした「自由の相互承認」の感度を，対話を通して高めていくこと，それこそが，一人ひとりが，そして皆で，平和を築いていく第一歩になると信じています．
二学期も，我々教職員は子どもたちと共に，そして保護者・地域の皆様と共に，そうした歩みを重ねていきたいと考えています．

生きるということは，本当は，喜びです．
生きていくというのは，本当はとても，うんと面白いこと，楽しいことです．
（中略）
だから僕は，子どもたちには生きることをうんと喜んでいてほしい．
この世界に対して目を見開いて，それをきちんと理解して面白がってほしい．
そうして，自分たちの生きていく場所がよりよいものになるように，うんと力をつけて，それをまた次の世代の子どもたちに，よりよい形で手渡してほしい．
どうか，どうか，同じ間違いを繰り返すことがないように．
心から，そう願っています．

「未来のだるまちゃんへ」（かこさとし）

△９月の行事予定▽

１日（火）	始業式　全校終会11:35	
２日（水）	全校終会11:35	
３日（木）	給食開始　全校終会12:35	
４日（金）	全校終会12:35	
10日（木）	黒豆の館見学（２年生）	
	委員会活動	
14日（月）	児童朝会	
15日（火）	稲刈り※予備日16日（水）	
17日（金）	明るい一日の始まり運動	
	オープンスクール（午前）	
	３校時：人権参観日	
	４校時：薬物乱用防止教室※５・６年生	
	親子ふれあい活動（午後）	
24日（木）	クラブ活動	
28日（月）	人権朝会	
29日（火）	さつまいも掘り	
30日（水）	兵庫教育大学学生西紀小視察	
	※学生さんが子どもたちの様子を見に来ます	



◎ご意見・感想をお聞かせ下さい◎



「西紀っ子だより」へのご意見や感想をお聞かせ下さい．
右のＱＲコードを読み取っていただくと，フォームにつながります．
または，学校でお話をうかがうことも出来ます．いつでもお越しください．